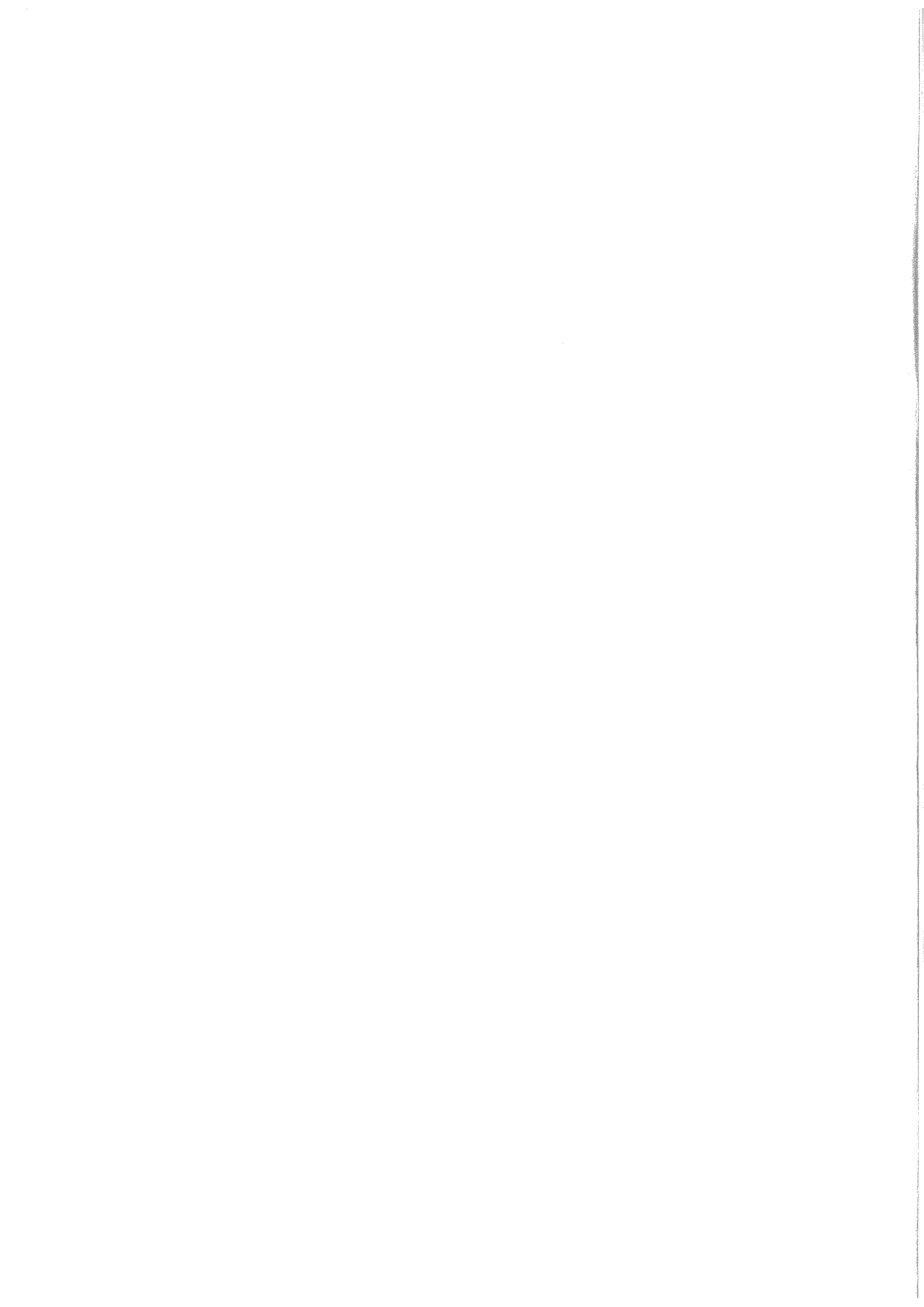


2011 / 年報

平成23年度

No.19

山形県立うきたむ風土記の丘考古資料館



は じ め に

平成5年の開館以来19年目、そして第Ⅱ期指定管理者制度の3年目にあたる今年度は、開館当初の設置目的を基本にしながらも、当館をとりまく環境変化をふまえて経営にあたらせていただきました。

環境変化の大きな点は、第一に、全国的な不況があい続く中に起こった東日本大震災の影響が著しく文化に対するゆとりのない状況であります。折角館の門前まで足を運びながら入館しないで終わる方が多くなったことです。展示の充実やポスター・案内チラシの工夫、玄関周辺的环境整備に心がけました。

第二は、小中高等学校の学校団体の入館減少です。新学習指導要領の本格実施に伴う授業時間の確保などが原因ですが、東日本大震災の発生やインフルエンザの流行も拍車をかけています。当館からののはたらきかけはもとより教育委員会・教育団体を通じたはたらきかけも効を奏し、前年度並みに減少を食い止めました。

特に順調に軌道に乗っているのは『赤ちゃん手形』体験事業です。今や県内各地で浸透し、毎年手形を押した赤ちゃんが増え、記録更新が続いています。手形を体験する赤ちゃんには父母・兄弟・祖父母まで連れ添い、子どもの日を含む5日間でも入館者数が記録更新しております。もはや当館の看板事業となりました。

展示につきましては、定評ある山形県古代史と直結するテーマ性に富んだ企画展『やまがたの古墳時代—最上川流域のムラと古墳—』を開催するとともに、関連テーマで考古学セミナーを実施しました。山形県古代史のファンを魅了させました。また、県民の要請に応えた「やまがたの歴史を語る遺跡展」第1年次は、特に弥生時代を中心に多くの方の興味関心を高めたようでした。

置賜地区の諸団体の代表者で構成するうきたむ学講座実行委員会との共催『うきたむ学講座』や山形考古学会との共催『山形の考古資料検討会』などの講座も大勢の聴講者を得て活気ある1年となりました。

このような中、限りある人手と予算で大々的ではないが、展示パネルの更新その他多くの改善に努めました。さらに年度末には企画展示室の改装等が実現し、前進の歩みであったと思います。

このような成果を得た陰には、何かとご支援を賜りました山形県教育庁文化財保護推進課、財団法人山形県埋蔵文化財センターや各市町村教育委員会、東北芸術工科大学、山形大学、米沢女子短期大学および山形考古学会、うきたむ考古の会、歴史公園管理組合、研究者の皆様のお力添えがありました。深く感謝を申し上げます。

平成24年3月31日

館 長 佐 藤 鎮 雄

目 次

1. 施設の概要	1
2. 開館後のあゆみ	2
3. 展示の概要	5
(1) 常設展示及びテーマ展示	
(2) 第19回企画展	
4. 教育普及活動	7
(1) 記念講演会	
(2) 体験教室	
(3) 遺跡研修	
(4) 第13期「考古学セミナー」	
(5) 考古資料検討会	
(6) 第VI期うきたむ学講座	
(7) 学校教育との連携	
(8) 学芸員実習	
5. 資料の活用	9
(1) 資料貸出	
(2) 写真利用	
(3) 資料館資料の特別利用	
(4) 刊行物一覧	
6. 入館状況	10
(1) 月別入館者一覧表	
(2) 主な入館団体一覧	
(3) 来観者アンケート	
7. 管理及び運営	11
(1) 組織・職員	
(2) 運営協議会	
8. 受贈図書	12
9. 利用案内	17
10. 条例規則	20

1. 施設概要

(1) 設置の趣旨

山形県立うきたむ風土記の丘考古資料館は、本県にとっての歴史上重要な古代の遺跡に関する資料の収集、保管及び展示を行うとともに、風土記の丘の中心として設置するものである。

(2) 沿革

昭和51年度	第6次山形県総合開発計画及び第2次山形県教育振興計画において、風土記の丘（歴史公園）建設構想提示
昭和56年度	風土記の丘実態調査を実施し、候補予定地は、高島町の洞窟遺跡群を中心とする置賜地域が適当と報告
昭和60年度	第7次山形県総合開発計画及び第3次山形県教育振興計画において、候補地区を高島町を中心とする置賜地区に位置付け
昭和61年度	風土記の丘基本構想・計画を作成
平成2年度	考古資料館の基本・実施設計を作成
平成3年度	高島町町有地を借用し、考古資料館本体工事着工、展示工事着工
平成4年度	考古資料館建物本体・展示工事完成、考古資料館外構工事・植栽工事施工、名称を「うきたむ風土記の丘考古資料館」に決定
平成5年度	考古資料館開館 4月23日

(3) 施設

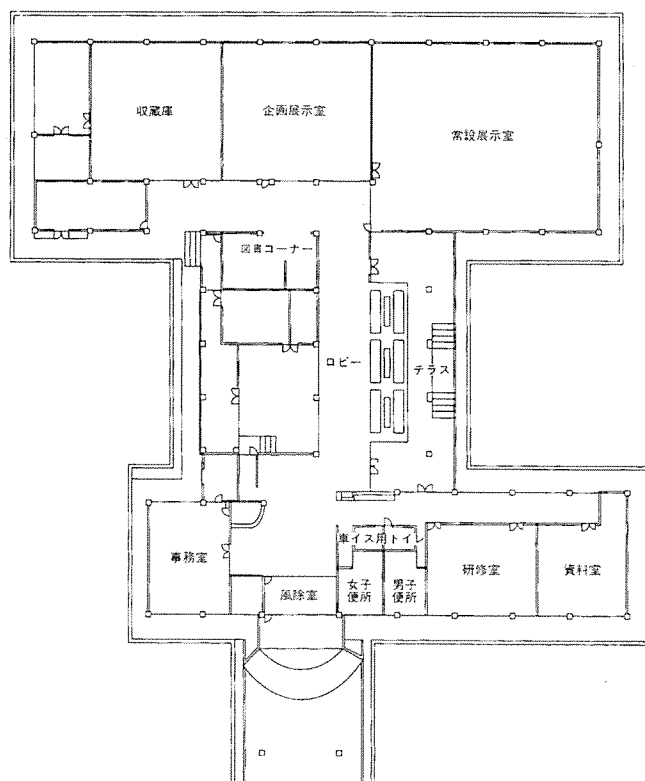
① 構造・規模

鉄筋コンクリート造平屋建

敷地面積： 7,000^m²

延床面積：1,358.24^m²

常設展示室	279.00 ^m ²
企画展示室	129.37 ^m ²
収蔵庫(2層)	129.37 ^m ²
研修室	125.70 ^m ²
事務室	67.50 ^m ²
作業室・荷解室	51.75 ^m ²
ロビー・ホール	336.85 ^m ²
その他(機械室等)	238.70 ^m ²



〔山形県立うきたむ風土記の丘考古資料館平面図〕

2. 開館後のあゆみ

- 平成5年度 開館記念行事・記念講演「考古資料館に期待すること」 文化庁 田中 琢氏
第1回特別展「縄文の四季」
シンポジウム「祈りとたたかいの中世」
第1回収蔵品展「押出遺跡とその周辺」
第1回企画展「古墳と人々の暮らし」
講演会「末期古墳がつくられたころ」 福島大学 工藤雅樹氏
第2回収蔵品展「最近発掘された置賜の遺跡から」
- 平成6年度 第2回企画展「一ノ坂遺跡と巨大住居」
講演会「東北・北陸の巨大住居が意味するもの」 秋田埋文センター 富樫泰時氏
第3回収蔵品展「平地と山地の縄文遺跡」
第1期やさしい考古学入門講座
「縄文時代の人々と文化」 日本考古学協会会員 佐藤鎮雄氏 他10回
第3回企画展「発掘された中世—まじないと祈りの世界—」
講演会「中尊寺金色堂の視線」 東北大学 入間田宣夫氏
第4回収蔵品展「古代の村と暮らし」
- 平成7年度 開館3周年記念特別展「よみがえる縄文文化」
講演会「三内丸山遺跡と東北の縄文文化」 青森県教育委員会 岡田康博氏
第5回収蔵品展「高島の古墳時代」
第2期やさしい考古学入門講座「日本のやきものの流れ」
「縄文章創期・早期」 山形埋文センター 佐々木洋治氏 他10回
うきたむ考古の会設立 東北中世考古学会設立
第4回企画展「やまがた古代の役所」
味噌根窯跡の発掘調査（～12月上旬）
講演会「古代出羽の役所」 酒田市教育委員会 小野 忍氏
第6回収蔵品展「置賜のやきものの移りかわり」
- 平成8年度 第5回企画展「古代の窯業遺跡」
講演会「古代の窯業遺跡」 国立歴史民俗博物館教授 吉岡康暢氏
第3期やさしい考古学入門講座「遺跡発掘最前線～遺跡を掘るⅠ」
「弥生時代の遺跡を掘る」 山形埋文センター 佐藤庄一氏 他10回
第7回収蔵品展「縄文の四季」
第3回特別展「縄文のタイムカプセル押出遺跡展」
講演会「縄文文化と現代」 国立歴史民俗博物館 佐原 真氏
第8回収蔵品展「土器のうつりかわり」
- 平成9年度 第6回企画展「縄文の花開いて～一ノ坂・台ノ上遺跡～」
テーマ展「考古資料からみた古代・中世」（企画展期間を除く）
講演会「古代出羽の都」 酒田中央高校 佐藤禎宏氏
講演会「縄文文化の魅力」 國學院大学 小林達雄氏
第4期やさしい考古学入門講座「遺跡発掘最前線～遺跡を掘るⅡ」
「大型住居跡を掘る」 米沢市教育委員会 手塚 孝氏 他5回
- 平成10年度 第7回企画展「やまがたの弥生文化—水田稲作の始まり—」
テーマ展「古代・中世の考古資料」（企画展期間を除く）
考古学入門講座「中世の考古学」
「奥羽の中世世界」 山形大学 伊藤清郎氏 他5回
講演会「東北の弥生文化—その成立と展開—」 東北大学 須藤 隆氏

- 平成11年度 第8回企画展「やまがたの古墳とその時代」
 テーマ展「古代・中世の考古資料」(企画展期間を除く)
 考古学セミナー「やまがたの古墳とその時代」
 「古墳時代の集落」山形県立博物館 阿部明彦氏 他5回
 講演会「日本の中の山形の古墳」明治大学 大塚初重氏
 置賜地区遺跡発掘調査報告会
- 平成12年度 第9回企画展「縄文時代・最後の世界」
 テーマ展「古代・中世の考古資料」(企画展期間を除く)
 考古学セミナー「奈良・平安の考古学」
 「飛鳥時代の東北」福島県教育委員会 木本元治氏 他5回
 講演会「縄文文化の最後の世界～東北・北陸の縄文晩期の文化」
 明治大学 石川日出志氏
 2000年山形の発掘〈調査検討会〉
- 平成13年度 第10回企画展「発掘された山形の城館跡」
 テーマ展「古代・中世の考古資料」(企画展期間を除く)
 考古学セミナー「城館跡の考古学」
 「城館跡を歩き楽しむ」中世城郭研究会 横山勝栄氏 他5回
 講演会「奥羽における城館跡」山形大学 伊藤清郎氏
 2001年山形の発掘〈調査検討会〉
- 平成14年度 第4回特別展「やまがたの縄文土器」
 テーマ展「古代・中世の考古資料」(企画展期間を除く)
 考古学セミナー「やまがたの縄文土器」
 「縄文土器の出現と展開」山形県教育庁 渋谷孝雄氏 他5回
 講演会「やまがたの縄文土器」
 國學院大学 小林達雄氏、東京都教育委員会 安孫子昭二氏
 2002年置賜の発掘〈調査検討会〉
- 平成15年度 第11回企画展「古代長者の世界～古志田東遺跡展」
 テーマ展「古代・中世の考古資料」(企画展期間を除く)
 考古学セミナー「平安時代の歴史と考古」
 「平泉と出羽」山形県立米沢女子短期大学 吉田 歆氏 他5回
 講演会「古代長者の世界～古志田東遺跡」
 山形大学 三上喜孝氏、米沢市教育委員会 手塚 孝氏
 2003年置賜の発掘〈調査検討会〉
- 平成16年度 第12回企画展「埋められた経こめられた願い やまがたの経塚」
 テーマ展「古代・中世の考古資料」(企画展期間を除く)
 考古学セミナー「信仰の歴史と考古」
 「中世出羽の宗教と民衆」山形大学 伊藤清郎氏 他5回
 講演会「東日本の経塚と地域性」国立歴史民俗博物館 村木二郎氏
 「やまがたの経塚」当館館長 川崎利夫
 2004年置賜の発掘〈調査検討会〉
- 平成17年度 第13回企画展「古墳ができたころ 山形盆地の集落跡を中心に」
 テーマ展「古代・中世の考古資料」(企画展期間を除く)
 考古学セミナー「古墳出現期の考古学」
 「古墳時代前期とはどんな時代か」山形県教育庁 尾形興典氏 他5回
 講演会「土器からみる古墳出現期の地域間交流」東北学院大学 辻 秀人氏
 2005年置賜の発掘〈調査検討会〉

- 平成18年度 第14回企画展「旧石器から日向へー大きく変わった環境と文化ー」
 テーマ展「古代・中世の考古資料」(企画展期間を除く)
 考古学セミナー「旧石器・中石器の考古学」
 「ナイフ形石器を使う人々」(助山形県埋蔵文化財センター 渋谷孝雄氏 他5回
 講演会「日向洞窟の石器が語る環境と文化の大激変ー旧石器から縄文へー」
 東北学院大学 佐川正敏氏
- 2006年置賜の発掘く調査検討会)
 第I期うきたむ学講座 米沢女子短期大学 吉田歆氏他 全3回
- 平成19年度 第15回企画展「縄文の至宝 押出遺跡」
 テーマ展「古代・中世の考古資料」(企画展期間を除く)
 考古学セミナー「縄文時代前期の考古学ー押出遺跡にみる縄文人のくらしー」
 「縄文の至宝 押出遺跡」山形県教育庁文化財保護室 渋谷孝雄氏 他5回
 講演会「押出遺跡の世界」山形県教育庁文化財保護室 佐藤庄一氏
 2007年置賜の発掘く調査検討会)
 第II期うきたむ学講座 山形大学人文学部 三上喜孝氏他 全3回
- 平成20年度 第16回企画展「出羽国ができるころ」
 テーマ展「古代・中世の考古資料」(企画展・特別テーマ展期間を除く)
 特別テーマ展「発掘おきたま最前線の考古展ー蘇る原始・古代の置賜象ー」
 展示:(助山形県埋蔵文化財センター
 考古学セミナー「飛鳥・奈良時代のやまがた」
 「置賜における古代窯業の開始」東北芸術工科大学 北野博司氏他
 講演会「出羽国ができるころ」当館名誉館長 川崎利夫氏
 2008年山形の考古資料検討会
 第III期うきたむ学講座 米沢女子短期大学 吉田歆氏他 全3回
- 平成21年度 第17回企画展「じょうもん天地人ーやまがた前期縄文人のたたかいー」
 テーマ展「古代・中世の考古資料」(企画展・特別テーマ展期間を除く)
 特別テーマ展「発掘置賜最前線の考古展ー蘇る中世・近世の置賜象ー」
 展示:(助山形県埋蔵文化財センター
 考古学セミナー「やまがたの縄文時代前期を考える」
 講演会「じょうもん天地人」東北芸術工科大学 安斎正人氏
 2009年山形の考古資料検討会
 第IV期うきたむ学講座 上杉博物館 阿部哲人氏他 全3回
- 平成22年度 第18回企画展「平安初頭の南出羽ー役所とその周辺ー」
 テーマ展「古代・中世の考古資料」(企画展・特別テーマ展期間を除く)
 特別テーマ展「発掘置賜最前線の考古展3ー解明される置賜象ー」
 展示:(助山形県埋蔵文化財センター
 考古学セミナー「平安初頭における南出羽の考古学」
 講演会「南出羽における平安時代初頭の官衙とその周辺」
 山形考古学会副会長 佐藤庄一氏
- 2010年山形の考古資料検討会
 第V期うきたむ学講座
- 平成23年度 第19回企画展「やまがたの古墳時代ー最上川流域の古墳と集落ー」
 テーマ展「古代・中世の考古資料」(企画展・特別テーマ展期間を除く)
 特別テーマ展『やまがた文化遺産・遺跡展』
 「米づくりがはじまったころー百刈田遺跡ー」
 展示:(助山形県埋蔵文化財センター
 考古学セミナー「やまがたの古墳時代を考える」
 記念講演会「最上川流域の古墳とムラ」東北芸術工科大学 准教授 北野博司氏
 2011年山形の考古資料検討会
 第VI期うきたむ学講座

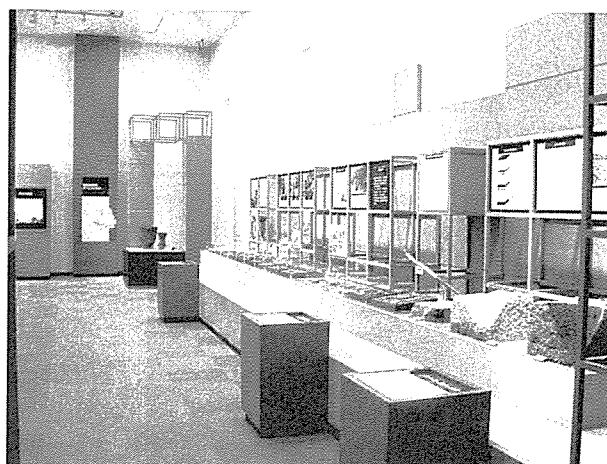
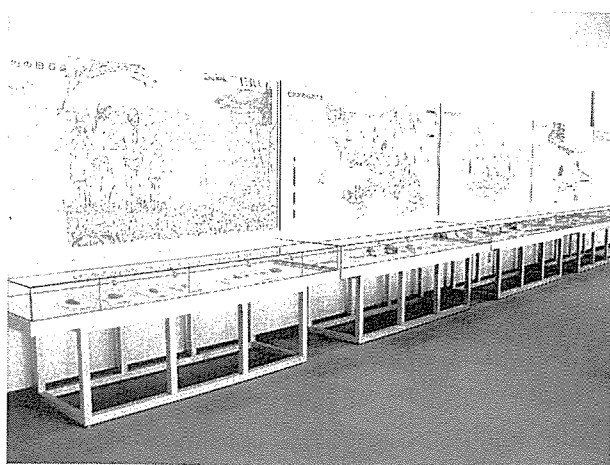
3. 展示の概要

(1) 常設展示及びテーマ展示

常設展示はロビーから始まり「置賜のあけぼの」、常設展示室では、「大谷地をかこむ遺跡」「縄文時代のタイムカプセル」「古墳をつくる人々」の三部から展示を構成している。主に置賜を中心とした原始・古代の資料を紹介しながら、地域の歴史を解説している。常設展示室入口より、日向洞窟をはじめとする縄文時代草創期の洞窟遺跡を紹介、次に縄文時代前期の低湿地遺跡で縄文クッキーをはじめ数々の木製品、彩漆土器などが出土した押出遺跡を大きく取り上げている。展示室中央には押出遺跡から見つかった住居跡の復元展示を見ることができる。そのほか豪壮な縄文中期の土器や、後期・晩期の繊細な土器を土偶や石器とともに展示。そのあとに続く弥生時代の展示では石包丁、古墳時代の展示では、資料館のすぐそばにある安久津古墳をはじめ、置賜地域に広く分布する古墳の様子を、写真パネルを用いて解説している。

企画展示室では企画展期間を除き、主としてテーマ展「古代・中世の考古資料」を行っている。古墳時代以後の考古遺物、6世紀から江戸時代までの器や信仰遺物や、奈良・平安時代の文字資料・硯などを展示している。そのほか、他機関の協力によりミニ企画展や、特別テーマ展などを行っている。

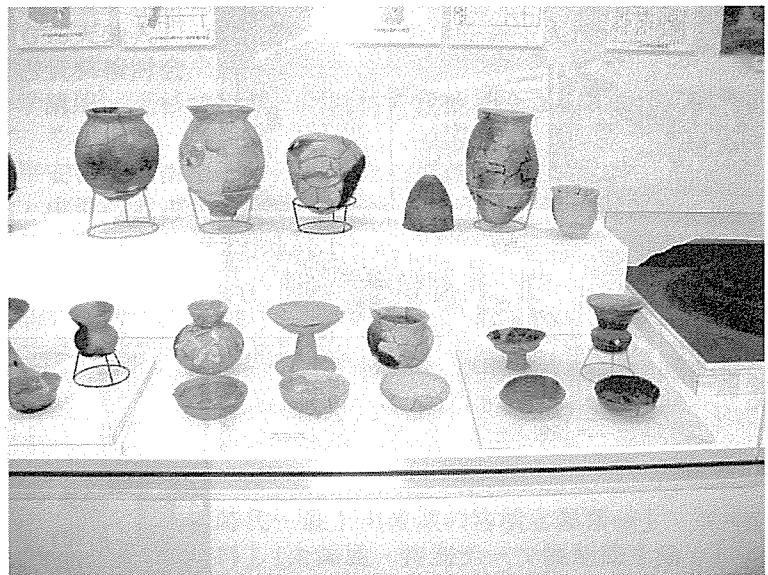
今年度の特別テーマ展は『やまがた文化遺産・遺跡展』「米づくりがはじまったころ—百刈田遺跡—」というテーマで財団法人山形県埋蔵文化財センターと共催により23年4月16日から9月25日まで開催した。



(2) 第19回企画展

- テーマ 「やまがたの古墳時代—最上川流域の古墳と集落—」
- 開催期間 2011年10月1日(土)～11月30日(水)

山形県域に点在する古墳と古墳時代の集落遺跡を、最上川流域という視点で取り上げ展示を行った。パネルにて展示を解説し、さらに展示解説シートを用意して展示内容を分かりやすく伝えた。

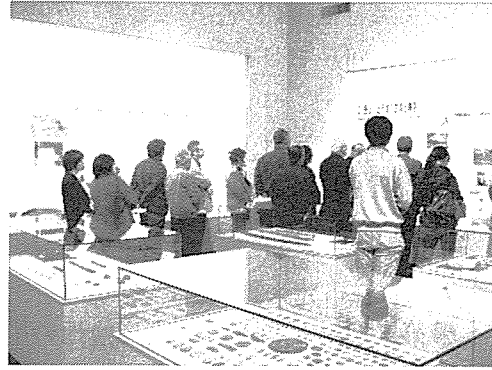


4. 教育普及活動

(1) 第19回企画展記念講演会

11月13日(日) 受講者69名

- 基調講演「最上川流域の古墳とムラ」
東北芸術工科大学 准教授 北野 博司 氏
- 講演会&ギャラリートーク
10月8日(土) 講演 当館名誉館長 川崎 利夫 氏
10月29日(土) 講演 米沢市教育委員会
手塚 孝 氏
11月3日(祝) ギャラリートーク
当館館長 佐藤 鎮雄 氏



(2) 体験教室

① 勾玉・弓矢・石器をつくろう

5月21日(土)・8月14日(日)・11月3日(祝) 計195名参加

資料館の展示を見学のあと、滑石を使って勾玉、竹を使って弓矢を作った。頁岩や黒曜石を鹿の角を使って割り、石器作り体験を行った。

② ガラス玉をつくろう

6月4日(土)・12月10日(土) 計14名参加

ガラスをとかし、芯棒に巻きつける方法で、古墳などから出土するガラス玉を作った。

③ 縄文土器をつくろう—野焼きのための焼物教室—

形づくり 8月6日(土) 計4名参加

野焼き 10月9日(日)

④ 赤ちゃん手形づくり

5月1日より5月5日まで 手形数699個

縄文時代の遺跡から出土した子供の手形土製品を、親子で楽しんで再現することを目的に実施。当初は震災の影響で参加者が激減するのではないかと考えられたが、実際は昨年度を手形99個分上回り、過去最高となった。

(3) 遺跡研修

① 春の遺跡めぐり

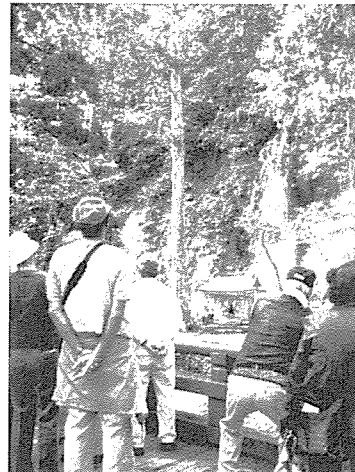
5月22日(日) 参加者30名 東根市・村山市方面

② 秋の遺跡めぐり

9月25日(日) 参加者20名 鶴岡南部方面

③ 遺跡の旅（うきたむ考古の会と共催）

6月25日(土)・26日(日) 参加者17名 秋田県方面



(4) 第12期「考古学セミナー」

企画展の内容に合わせて、「やまがたの古墳時代を考える」をテーマとして開催、学習した。古墳時代の様子をムラ(集落)と古墳の関連から見ていった。最新の考古学資料をもとに、県内の最前線で研究している講師により講義を行った。

受講者延べ121名

- 第1回 7月10日「やまがたの古墳時代概観」 当館館長 佐藤 鎮雄 氏
- 第2回 7月17日「やまがたの古墳時代土師器」 県文化財保護推進課 阿部 明彦 氏
- 第3回 7月24日「やまがたの古墳時代須恵器」
(財)山形県埋蔵文化財センター 伊藤 邦弘 氏
「やまがたの中期・後期古墳群」
(財)山形県埋蔵文化財センター 草野 潤平 氏
- 第4回 7月31日「山形盆地の中後期古墳とお花山古墳群」
県文化財保護推進課 長橋 至 氏
- 第5回 8月7日「山形盆地の中後期村落と嶋遺跡」 山形市教育委員会 樋口 修 氏
「置賜地域の土器様相」 (財)山形県埋蔵文化財センター 菊池 玄輝 氏
「やまがたの古墳時代木製品」 県文化財保護推進課 竹田 純子 氏

(5) 考古資料検討会

2011年度山形の考古資料検討会

2月19日(日) 42名参加

基調報告「2011年度山形県の発掘調査概要」

報告遺跡 ・ 押出遺跡・戸塚山古墳群・米沢館山城跡・八反遺跡

(6) 第Ⅵ期うきたむ学講座

今年度で6年目となる。うきたむ学講座実行委員会と共催。

日頃は市町村、地区単位で歴史探究や啓蒙活動を行っている方々に、今年度は「置賜の大地と祈り—活断層と石造文化財—」をテーマにそれぞれの地域との関わりを講演いただいた。

受講者延べ 121名

- 第1回 1月22日(日)
講話①「南陽市三間通周辺の新墓地を歩く」 当館名誉館長 川崎 利夫 氏
講話②「高島町高安の犬の宮・猫の宮その伝説と謎」 置賜民俗学会 清野 春樹 氏
- 第2回 2月5日(日)
講話③「置賜の地史—地震の意味—」 山形大学名誉教授 山野井 徹 氏
- 第3回 3月4日(日)
講話④「野仏に秘められたもの—白鷹町石造文化財悉皆調査—」
白鷹町文化財保護委員 平吹 利数 氏
講話⑤「山形県内の遺跡からみる災害の痕跡」 山形考古学会副会長 佐藤 庄一 氏

■うきたむ学講座 夏季講習会

6月11日 参加者 第1部70名 第2部185名
主催：米沢女子短期大学・うきたむ学実行委員会
・米沢史学会

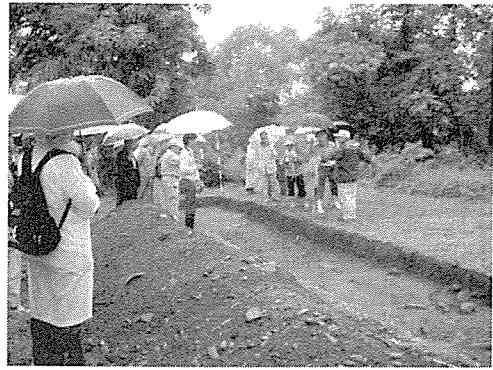
後援：米沢市教育委員会

第1部 現地見学 米沢市館山城

解説 菊池 政信 氏（米沢市教育委員会）

第2部 シンポジウム「伊達氏の本城はどこか」

（於：米沢女子短期大学講堂）



基調講演

「戦国期における境目 —軍事的境界領域—」 東京都立大学名誉教授 峰岸 純夫 氏

報告 1 館山城の形状について

手塚 孝 氏（米沢市教育委員会）

報告 2 文献から見た米沢城・館山城

宮田 直樹 氏（米沢市教育委員会）

報告 3 米沢以前の伊達の城

今野 賀章 氏（伊達市教育委員会）

補足報告 館山城址とその城下をめぐる問題について

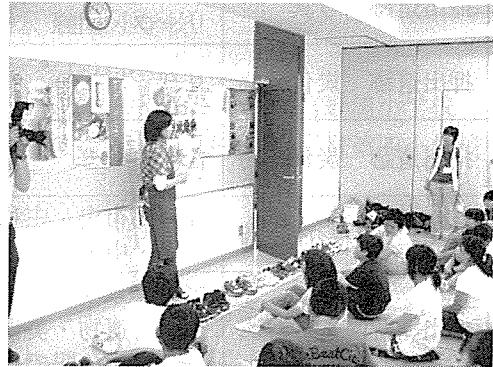
渋谷 敏己 氏（置賜史談会）

討論会

(7) 学校教育との連携

今年度も、学校等の団体で入館を希望する場合に、来館の目的・展示説明や体験学習の有無・利用に際しての希望などを指示していただく「利用打ち合わせ書」の提出を依頼している。また、利用後の「利用評価表」の記入も引き続き依頼し、その評価から改善点などを参考にしている。

多くの学校が、資料館と歴史公園・近隣史跡の見学を組み合わせ利用している。また、体験学習（勾玉づくり・弓矢づくり・編布づくり・火起し・縄文服試着等）を行い、昔の物作りを学習する機会が多い。社会科学習や、親子行事での利用での利用が大半を占めた。広報と学習内容を検討しさらに地域教育に根ざした資料館を目指したい。



(8) 学芸員実習

8月4～10日 今年度は宮城学院女子大学の学生1名を受け入れた。

実習内容：体験学習補助など

5. 資料の活用

(1) 資料貸出

遺跡名	資料名	利用の理由	申請者	資料活用期間
郡の神遺跡	一字一石経経石	出前授業の教材	(財)山形県埋蔵文化財センター	平成23年5月14 ～17日
—	ナウマン象パネル	埋蔵文化財フェア	寒河江市教育委員会	平成23年8月5 ～12日
岩井沢遺跡	接合資料と剥片	H23年度企画展「出羽国成立以前の山形」展	山形県立博物館	平成23年9月22日 ～12月23日
押出遺跡	炭化食物(指定外)	H23年度企画展「出羽国成立以前の山形」展	山形県立博物館	平成23年9月22日 ～12月23日
押出遺跡	空中写真測量図	嶋遺跡発掘に係る成果の図化のための参照	山形市教育委員会	平成23年7月17日 ～12月15日

(2) 写真利用

利用資料	利用目的(印刷物等の名称)	利用者(発行者)	発行日など
押出遺跡 写真	一冊で学び直し! 日本史	株式会社 学習研究所	平成23年7月12日
押出遺跡 写真	H23年度企画展 チラシ・リーフ・図録	山形県立博物館	平成23年9～10月
押出遺跡 炭化食物	月刊 ポピー 6年 8月号	株式会社 新学社	平成23年8月1日
押出遺跡 炭化食物	日本のもと	株式会社 オフィス303	平成23年9月26日
押出遺跡 彩漆土器	春日部市史 庄和地域原始・古代・中世・近世	春日部市	平成24年3月発行
押出遺跡 土器写真	アルケオメトリア —考古遺物・美術工芸品を科学の眼で透かし見る—	東京大学 総合研究博物館	平成24年3月発行
押出遺跡 炭化食物	たべるのだいすき! 食育えほん 6月号	株式会社アルバ (株式会社チャイルド本社)	平成24年2月

(3) 資料館資料の特別利用

今年度該当なし

(4) 刊行物一覧

平成23年4月1日から平成24年3月31日までの刊行状況は下記のとおりである。

名 称	発行日
館報うきたむ37号	平成23年7月15日
第19回企画展図録兼概説書「やまがたの古墳時代—最上川流域の古墳と集落—」	平成23年10月1日
館報うきたむ38号	平成24年2月21日
2011年報	平成24年3月31日

6. 入館状況

(1) 平成23年度 月別入館者一覧表

月別	有料入館者数							無料入館者数			合計
	個人		団体		減免者数			高校生以下	視察その他		
	一般	大学生	一般	大学生	一般	大学生	高校生以下		一般	大学生	
4月	22	1			7		109	49	83		271
5月	112	1		51	82		723	1,325	1,745		4,039
6月	61	9	52		66		226	105	133	4	656
7月	57	3	132		139		134	85	124		674
8月	121		52					206	60		439
9月	62	12			125		527	176	312	10	1,224
10月	118	5	300		20		259	73	73		848
11月	103	2	158	49	2		47	100	154	3	618
12月	23							6	39		68
1月	11	1	53					3	45		113
2月	12		85					5	101		203
3月	36		40					42	124		242
合計	738	34	872	100	441	0	2,025	2,175	2,993	17	9,395

(2) 主な入館団体

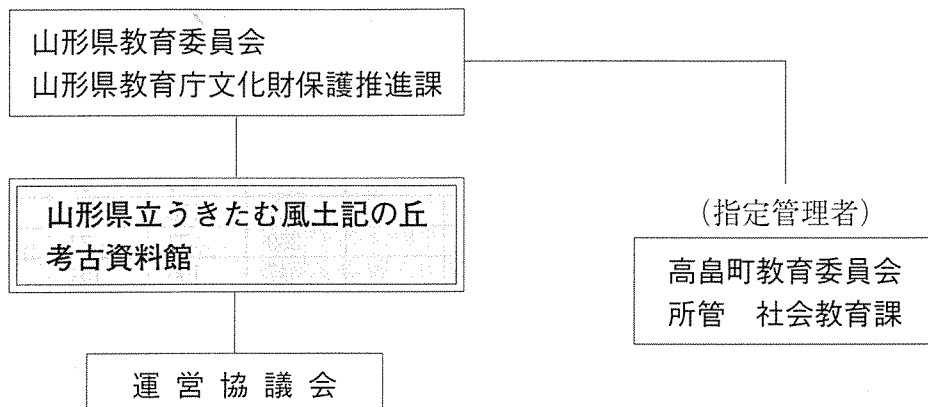
- 〈小学校〉・高島町立屋代小学校、和田小学校、糠野目小学校、亀岡小学校 ・川西町立吉島小学校
 ・米沢市立三沢西部小学校、窪田小学校、塩井小学校、関根小学校
 ・飯豊町立第一小学校、手ノ子小学校、添川小学校 ・上山市立東小学校
 ・天童市立高揃小学校 ・大江町立三郷小学校 ・酒田市立中平田小学校、宮野浦小学校
 ・鶴岡市立朝日大泉小学校 ・庄内町立余目第一小学校、余目第二小学校、余目第四小学校
 ・仙台市立鶴谷東小学校 ・山形県立山形盲学校
- 〈中学校〉・米沢市立第四中学校、米沢市中学校特別支援学校 ・川西町立川西中学校
 ・千葉県八千代市立大和田中学校
- 〈高校〉・山形県立高島高等学校、米沢商業高等学校、長井高等学校 ・西山学院高等学校
 ・神奈川県立神奈川総合高等学校
- 〈大学〉・山形県立米沢女子短期大学
- 〈出前授業〉・高島町立高島小学校、朝日町立宮宿小学校

(3) 入館者アンケート

- ・実物がたくさんあっておもしろい。 ・館内がきれいで良かった。
- 〈体験学習等の参加者から〉
- 赤ちゃん手形づくり
- ・子供が0歳の時から毎年参加している。記念になりとてもうれしい。(村山地方・女性)
 - ・対象年齢をもう少し広げて欲しい(置賜地方・女性)
- 勾玉・弓矢・石器づくり
- ・弓矢を作るのも的あてをするのも、とても楽しみにしていたので大満足だった。思っていたよりも短時間で出来てよかった。(小学2年生男子)
- ミニ土偶・土版づくり
- ・子供は粘土が好きなので、また実施して欲しい。(置賜地方・女性)
- 〈学校・PTA行事等団体〉
- ・社会科の学習、体験学習が出来て役に立ち喜んでた。(置賜地方・6年親子行事)
 - ・屋外の施設も含めて、教科書以外で現物を初めて見ることができ喜んでた。(庄内地方・修学旅行)

7. 管理及び運営

(1) 組織・職員



運営協議会

[本館運営協議会委員名簿]

氏名	備考
青木 敏雄	川西町立中郡小学校校長
岩崎 義信	長井市教育委員会文化 生涯学習課課長補佐
小笠原 正道	財団法人山形県埋蔵 文化財センター事務局長
高梨 善三郎	うきたむ考古の会副会長
丸森 千鶴子	赤湯温泉丹泉ホテル女将
村野 隆男	米沢市教育委員会文化課長
吉野 智雄	県文化財保護指導員

委員長 吉野 智雄

(2) 運営協議会

第1回 開催期日 10月6日(木)

本館研修室

会議内容

- ①平成23年度考古資料館事業報告
- ②平成24年度考古資料館事業の
運営方針(案)について
- ③その他

第2回 開催期日 2月2日(水)

本館研修室

会議内容

- ①平成23年度考古資料館事業報告
(中間報告)
- ②平成24年度考古資料館事業について(案)
- ③その他

山形県立うきたむ風土記の丘考古資料館 職員

職名	氏名	備考
館長	佐藤 鎮雄	非常勤
館長代理	井田 秀和	高島町職員
学芸員	森谷 幸	嘱託
職員	小関 利恵	嘱託
職員	福崎 稔	嘱託
職員	秦 昭繁	嘱託

8. 受 贈 図 書

年 報

名 称	発 行 者
浦幌町立博物館年報 第11号	浦幌町立博物館
館報 第8号	苫小牧市博物館
特別史跡 三内丸山遺跡年報14	青森県教育委員会
青森県立郷土館報 平成23年度版(通巻38号)	青森県立郷土館
平泉文化研究年報 第11号	岩手県教育委員会
岩手県立博物館年報 平成22年度	岩手県立博物館
北上市埋蔵文化財年報2009年度	北上市立埋蔵文化財センター
秋田県立博物館年報 平成23年	秋田県立博物館
秋田県埋蔵文化財センター年報29	秋田県埋蔵文化財センター
秋田城跡 秋田城跡調査事務所年報2010	秋田市教育委員会・秋田城跡調査事務所
東北歴史博物館 平成22年度年報	東北歴史博物館
多賀城跡 宮城県多賀城跡調査研究所年報2010	宮城県多賀城跡調査研究所
地底の森ミュージアム・縄文の森広場年報2011	仙台市富沢遺跡保存館
年報 平成22年度	山形県埋蔵文化財センター
天童市西沼田遺跡公園 要覧・年報2010	天童市西沼田遺跡公園
年報 通巻 第26号	齋藤茂吉記念館
米沢市文化財年報 No23	米沢市教育委員会
米沢市上杉博物館 年報 VOL.23	米沢市上杉博物館
福島県文化財センター白河館年報2010・2011	福島県文化財センター白河館
大安場史跡公園年報 平成21年度版	財)郡山市文化・学び振興公社 大安場史跡公園
国立歴史民俗博物館年報6	国立歴史民俗博物館
埋蔵文化財調査センター年報20~23	財)千葉市教育振興財団 埋蔵文化財調査センター
平成22年度 成田山文化財団年報 第2号	財)成田山文化財団
松戸市立博物館年報 第18号	松戸市立博物館
館報 No6	埼玉県立さきたま史跡の博物館
栃木県立なす風土記の丘資料館年報 第19号	栃木県立なす風土記の丘資料館
栃木県立しもつけ風土記の丘資料館年報 第25号	栃木県立しもつけ風土記の丘資料館
埋蔵文化財センター年報 第21号	財)とちぎ未来づくり財団 埋蔵文化財センター
土浦市立博物館年報 第23号	土浦市立博物館
小美玉市史料館報 第5号	小美玉市玉里史料館
財)群馬県埋蔵文化財調査事業団年報30	群馬県埋蔵文化財調査事業団
新潟県立歴史博物館年報 第10・11号	新潟県立歴史博物館
新潟県埋蔵文化財調査事業団年報 平成22年度	新潟県埋蔵文化財調査事業団
文化財課年報13	十日町市教育委員会
金沢城調査研究所年報4 平成22年度	石川県金沢城調査研究所
館報 平成22年度	福井県立若狭歴史民俗資料館
岐阜県博物館報第34号	岐阜県博物館
年報 平成22年度	滋賀県立安土城考古博物館
大阪府立近つ飛鳥博物館 館報14	大阪府立近つ飛鳥博物館
紀伊風土記の丘年報 第38号	和歌山県立紀伊風土記の丘
青谷上寺地遺跡発掘調査研究年報2010	鳥取県埋蔵文化財センター
下関市立考古博物館年報16	下関市立考古博物館
大分県立歴史博物館年報2010	大分県立歴史博物館
高知県立歴史民俗資料館年報 平成21・22年度	高知県立歴史民俗資料館
九州歴史資料館年報 平成21・22年度	九州歴史資料館
宮崎県立西都原考古博物館年報2010年度	宮崎県立西都原考古博物館
宮崎県総合博物館年報 No40	宮崎県総合博物館
山形大学付属博物館報37	山形大学付属博物館
東北芸術工科大学文化財保存修復センター年報2009・2010	東北芸術工科大学 文化財保存修復センター
同志社大学歴史資料館 館報 第14号	同志社大学歴史資料館

図 録

名 称	発 行 者
千島・樺太・北海道 アイヌの暮らし	財団法人アイヌ文化振興・研究推進機構
あかり	一関市博物館
古代の城柵と郡の成立	花巻市東和ふるさと歴史資料館
動物の考古学	仙台市教育委員会・仙台市富沢遺跡保存館
出羽国成立以前の山形	山形県立博物館
上杉家のルーツ—関東管領上杉家—	米沢市上杉博物館
洛中洛外図屏風に描かれた世界	米沢市上杉博物館
米沢の刀工—よみがえる赤羽刀—	米沢市上杉博物館
耳飾り展	山形県長井市教育委員会
大紙芝居展 よみがえる昭和の街頭文化	横浜市歴史博物館
近世横浜 海岸部の新田開発	横浜市歴史博物館
都筑区茅ヶ崎城跡と謎のウズマキかわらけ	横浜市歴史博物館
寺社参詣・物見遊山	横浜市歴史博物館
大昔のムラを掘る—三殿台遺跡発掘50年—	横浜市歴史博物館
庄作遺跡と墨書土器の世界	芝山町立芝山古墳・はにわ博物館
スローフードの考古学	埼玉県立さきたま史跡の博物館
祈りとまじないの考古学	埼玉県立さきたま史跡の博物館
那須と白河	栃木県立なす風土記の丘資料館
ムラから見た奈良・平安時代	栃木県立しもつけ風土記の丘資料館
戦国武将小田氏と法雲寺	土浦市立博物館
再葬墓と人面付土器のふしぎ	常陸大宮市歴史民俗資料館
観音塚古墳の世界	高崎市観音塚考古資料館
輝ける大刀—古墳時代の装飾—	高崎市観音塚考古資料館
縄文のK A Z A R I—顔を飾る縄文人—	十日町市博物館
国宝 笹山遺跡出土品のすべて	十日町市博物館
激動を生き抜く	長野県立歴史館
武士の家宝	長野県立歴史館
観光地の描き方	長野県立歴史館
縄文土器名宝展	山梨県立考古博物館
大岩山銅鐸から見えてくるもの	滋賀県立安土城考古博物館
大国近江の壮麗な国府	滋賀県立安土城考古博物館
『人』『自然』『祈り』共生の原点を探る	滋賀県立安土城考古博物館
祈りの世界—遺物に込められた先人たちの願い—	桜井市立埋蔵文化財センター
ヤマトの王と居館	桜井市文化財協会
サヌカイト—元始の鉄—	香芝市二上山博物館
倭人と文字の出会い	大阪府立近つ飛鳥博物館
百舌鳥・古市の陵墓古墳	大阪府立近つ飛鳥博物館
歴史発掘おおさか2011	大阪府立近つ飛鳥博物館
大王の埴輪・紀氏の埴輪—今城塚と岩橋千塚—	和歌山県立紀伊風土記の丘
出雲国分寺と山陰道の国々	島根県立八雲立つ風土記の丘
出雲型子持壺の世界	島根県立八雲立つ風土記の丘
弥生時代の拠点集落	下関市立考古博物館
日向における弥生文化のなぞ	宮崎県立西都原考古博物館
覇者の愛した煌めき—六世紀代の日韓金銅製品—	宮崎県立西都原考古博物館
縄文デザイン集Ⅰ	弘前大学人文学部付属 亀ヶ岡文化研究センター
佐藤 蒞 考古画譜Ⅲ	弘前大学人文学部付属 亀ヶ岡文化研究センター
漆器	明治大学博物館
埼玉県鶴ヶ島市寄贈 オセアニア民俗造形美術品展	早稲田大学會津八一記念博物館
刷師「岡部徳三」と版工工房の仕事	九州産業大学美術館

紀 要

名 称	発 行 者
浦幌町立博物館紀要 第11号	浦幌町立博物館
青森県立郷土館研究紀要 第35号	青森県立郷土館
岩手県立博物館研究報告 第28号	岩手県立博物館
人首川流域における古代末期遺跡調査報告書 岩手県立博物館調査研究報告書 第26冊	岩手県立博物館
一関市博物館研究報告 第14号	一関市博物館
秋田県立博物館研究報告 第36号	秋田県立博物館
秋田県埋蔵文化財センター研究紀要 第25号	秋田県埋蔵文化財センター
東北歴史博物館研究紀要12	東北歴史博物館
地底の森ミュージアム・縄文の森広場研究報告2010	仙台市教育委員会・仙台市富沢遺跡保存館
山形県立博物館研究報告 第29号	山形県立博物館
研究紀要2010	福島県文化財センター白河館
東京国立博物館紀要 第46号	東京国立博物館
MUSEUM No.628~633	東京国立博物館
書陵部紀要 第62号	宮内庁書陵部
書陵部紀要 第62号(陵墓篇)	宮内庁書陵部
横浜市歴史博物館紀要 第15号	横浜市歴史博物館
横浜市歴史博物館調査研究報告 第6・7号	横浜市歴史博物館
松戸市立博物館紀要 第18号	松戸市立博物館
埼玉県立史跡の博物館紀要 第5号	埼玉県立さきたま史跡の博物館
研究紀要 第19号	財)とちぎ生涯学習文化財団埋蔵文化財センター
土浦市立博物館紀要 第21号	土浦市立博物館
研究紀要 第6号	新潟県埋蔵文化財調査事業団
研究紀要 金沢城研究 第9号	石川県金沢城調査研究所
岐阜県博物館調査研究報告 第32号	岐阜県博物館
紀要 第19号	滋賀県立安土城考古博物館
指定品の展示・収蔵状況の実態調査 平成19~22年度科学研究費補助金基盤研究(C)研究成果報告書	元興寺文化財研究所 研究員
元興寺文化財研究所 研究報告2009・2010	元興寺文化財研究所
研究紀要 第15号	下関市立考古博物館
宮崎県立西都原考古博物館 研究紀要 第7号	宮崎県立西都原考古博物館
宮崎県総合博物館研究紀要 第31輯	宮崎県総合博物館
歴史遺産研究 No.6	東北芸術工科大学 芸術学部歴史遺産学科
東北芸術工科大学文化財保存修復研究センター紀要 No.1	東北芸術工科大学文化財保存修復研究センター
文化財保存修復研究センター研究成果報告書 平成22年度	東北芸術工科大学 文化財保存修復研究センター
明治大学博物館研究報告 第16号	明治大学博物館
資源環境と人類 明治大学黒耀石研究センター紀要 第1号	明治大学黒耀石研究センター
國學院大學博物館學紀要 第35輯	國學院大學博物館学研究室
早稲田大学會津八一記念博物館研究紀要 第12号	早稲田大学會津八一記念博物館

報告書

名 称	発 行 者
三内丸山遺跡37 他1 青森県埋蔵文化財調査報告書 第509・510集	青森県教育委員会
石江遺跡群発掘調査報告書Ⅲ 他2 青森市埋蔵文化財調査報告書 第107～109集	青森市教育委員会
柳之御所遺跡 第70次発掘調査概報 岩手県文化財調査報告書 第133集	岩手県教育委員会
二子城跡 他2 北上市埋蔵文化財調査報告 第65・101・102集	北上市教育委員会
平泉遺跡群発掘調査報告書 他4 岩手県平泉町文化財調査報告書 第97・113～116集	平泉町教育委員会
狼穴Ⅱ遺跡 他10 秋田県文化財調査報告書 第460～463、465～467、469～472集	秋田県教育委員会・秋田県埋蔵文化財センター
史跡秋田城跡整備事業報告書Ⅱ	秋田市教育委員会
北小松遺跡 他2 宮城県文化財調査報告書 第226～228集	宮城県教育委員会
日の出山窯跡群Ⅲ 多賀城関連遺跡発掘調査報告書 第36冊	宮城県多賀城跡調査研究所
西台畑遺跡第3次調査 他2 仙台市文化財調査報告書 第388・389・391集	仙台市教育委員会
八幡坂遺跡ほか発掘調査報告書 他2 白石市文化財調査報告書 第34・35・39集	白石市教育委員会
矢本横穴墓群Ⅱ 他1 東松島市文化財調査報告書 第7・8集	東松島市教育委員会
硯沢窯跡Ⅱ 利府町文化財調査報告書 第13集	利府町教育委員会
西浦B遺跡 他1 蔵王町文化財調査報告書 第10・11集	蔵王町教育委員会
北経塚遺跡 山元町文化財調査報告書 第4集	山元町教育委員会
分布調査報告書(37) 山形県埋蔵文化財調査報告書 第214集	山形県教育委員会
玉作2遺跡 第2次発掘調査報告書 他2 山形県埋蔵文化財センター調査報告書 第192～194集	山形県埋蔵文化財センター
寒河江市内遺跡発掘調査報告書(17) 山形県寒河江市埋蔵文化財調査報告書 第33集	寒河江市教育委員会
延沢城跡発掘調査報告書—第4次調査— 山形県尾花沢市埋蔵文化財調査報告書 第9集	尾花沢市教育委員会
遺跡詳細分布調査報告書 第24集 米沢市埋蔵文化財調査報告書 第100集	米沢市教育委員会
市内遺跡発掘調査報告書(19) 山形県長井市埋蔵文化財調査報告書 第31集	長井市教育委員会
下小松古墳群(5) 川西町埋蔵文化財調査報告書 第23集	川西町教育委員会
史跡桑折西山城跡発掘調査報告書 桑折町埋蔵文化財調査報告書24	桑折町教育委員会
阿津賀志山防塁史跡指定調査概報3・他 国見町文化財調査報告書 第18集	福島県伊達郡国見町教育委員会
平成21・22年度町内遺跡試掘調査報告書 会津美里町文化財調査報告書 第6集	福島県大沼郡会津美里町教育委員会
愛宕下遺跡Ⅱ 他15 東京都埋蔵文化財センター調査報告 第254～269集	東京都埋蔵文化財センター
打越小ザス遺跡Ⅵ 他2	八王子市教育委員会
千葉県土気城跡 他9	財)千葉県教育振興財団埋蔵文化財調査センター
千葉県台門貝塚 他2	千葉県教育委員会
天神前遺跡発掘調査報告書 他3 木更津市埋蔵文化財発掘調査報告書 第10集	木更津市教育委員会
御田台遺跡 芝山町埋蔵文化財調査報告書 第2集	芝山町教育委員会
吾妻古墳 他1 栃木県埋蔵文化財調査報告書 第333・334集	栃木県教育委員会・とちぎ生涯学習文化財団
小暮東新山遺跡 他1	群馬県教育委員会
新島遺跡 他2 群馬県埋蔵文化財調査事業団調査報告書 第521～523集	群馬県埋蔵文化財調査事業団
町内遺跡5 吉見町埋蔵文化財調査報告書 第9集	吉見町教育委員会
日本海沿岸東北自動車道関係発掘調査報告書X X XⅢ 西部遺跡Ⅱ 他9 新潟県埋蔵文化財調査報告書 第206、207、 214、217、219、222～226集	新潟県教育委員会

日本海沿岸東北自動車道関係発掘調査報告書 X X X V I 他 1 新潟県埋蔵文化財調査報告書 第221・227集	新潟県埋蔵文化財調査事業団
多賀屋敷遺跡Ⅳ 他 6	新潟県長岡市教育委員会
中島遺跡発掘調査報告書 他 2 十日町埋蔵文化財発掘調査報告書 第31・43・44集	十日町市教育委員会
剣野 他 2 柏崎市埋蔵文化財調査報告書 第63～65集	柏崎市教育委員会
佐渡市内遺跡発掘調査報告Ⅲ 他 1	新潟県佐渡市教育委員会
佐渡金銀山 佐渡市金銀山遺跡調査報告書15	佐渡市世界遺産推進課
平成19・20・21年度 加茂市内遺跡確認調査報告書 他 2 加茂市文化財調査報告(20)	加茂市教育委員会
桶筒遺跡	弥彦村教育委員会
加用中条A遺跡 他 3 津南町文化財調査報告書 第56～59輯	津南町教育委員会
金剛寺遺跡 後川遺跡 他12	滋賀県教育委員会事務局文化財保護課
二上山麓・サカイ遺跡 香芝市文化財調査報告書 第13集	香芝市教育委員会
特別史跡 岩橋千塚古墳群発掘調査・保存整備事業報告書 1	和歌山県教育委員会
青谷上寺地遺跡出土品調査研究報告 6 金属器 他 2 鳥取県埋蔵文化財センター調査報告39～41	鳥取県埋蔵文化財センター
朝倉市文化財年報 他 5 朝倉市文化財調査報告書 第 8～13集	朝倉市教育委員会
佐賀市埋蔵文化財本発掘調査報告書 2010年度 他11 佐賀市埋蔵文化財調査報告書 第57～61、63～69集	佐賀市教育委員会
特別史跡 西都原古墳群	宮崎県教育委員会・宮崎県立西都原考古博物館
仙台城跡二の丸北方武家屋敷地区第11地点・第12地点 東北大学埋蔵文化財調査室調査報告 1	東北大学埋蔵文化財調査室
岩倉忠在地遺跡Ⅱ同志社大学歴史資料館調査研究報告 第11集	同志社大学歴史資料館
神戸市北区道場町 南所 3号墳 大手前大学史学研究所オープン・リサーチ・センター研究報告 第 8号	大手前大学史学研究所オープン・リサーチ・センター
金沢城跡一河北門一 他 1 金沢城公園整備事業に係る埋蔵文化財調査報告書 4・5	石川県金沢城調査研究所
遠藤西谷遺跡Ⅱ	有明文化財研究所

資料目録

名 称	発 行 者
横浜市歴史博物館資料目録 第19集	横浜市歴史博物館
金沢城石垣構築技術史料Ⅱ 金沢城史料叢書12	石川県金沢城調査研究所
「弘前藩庁御国日記」狩猟関係史料集 第一・二巻	東北芸術工科大学東北文化研究センター
岩手県立博物館収蔵資料目録 第23集	岩手県立博物館

学 術

名 称	発 行 者
うきたむ考古 第15号	うきたむ考古の会
季刊 東北学 第二十七～二十九号	東北芸術工科大学 東北文化研究センター
米沢史学 第26・27号	米沢史学会
歴史研究 第595・597号	合資会社 歴研
置賜の民俗 第18号	置賜民俗学会
山形民俗 第25号	山形県民俗研究協議会
歴史地理教育 No765	歴史教育者協議会

単行本

名 称	発 行 者
資料で酒を味わう 歴史研究の最前線 Vol.13	国立歴史民俗博物館
日本史	(株)学研
地域から世界へ 遊学館ブックス	山形県生涯学習文化財団
日本のもと 米	(株)講談社

9. 利用案内

- ◆ 交通案内 JR高島駅よりタクシーで15分
JR高島駅より自転車で40分
*高島駅にレンタサイクルがあり、「まほろばの緑道」のサイクリング道があります
- ◆ 開館時間 AM9:00～PM5:00(受付PM4:30まで)
- ◆ 休館日 月曜日、国民の祝日(こどもの日と文化の日は無料で開館します)
年末年始(12月28日～1月4日)
大型連休中は、臨時開館の場合があります
燻蒸作業のため臨時休館の場合があります
- ◆ 入館料金 一般200円(150円)、学生100円(70円)、高校生以下無料
()は20名以上の団体料金(一人につき)
- ◆ 入館料の減免 次の基準により減免(無料入館)します
 1. こどもの日・文化の日・その他、教育委員会が指定する日において資料館が主催する教育、学術及び文化の普及向上に資する行事に参加する者については入館料を免除する。
 2. 前項に規定する者のほか、入館料の減免を受けることができる者は、次の各号の一つに該当する者とする。
 - (1) 教育課程に基づく教育活動として入館する児童、生徒、学生及びこれらの引率者
 - (2) その他教育委員会が公益上特に必要があると認める者

*上記の2つの入館料の減免を受けようとする方は、入館料減免申請書を考古資料館に提出してください。尚、詳細については、当館にお問い合わせください。
 - (3) 身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳及び療育手帳の交付を受けている者、その付添い人

考古資料館利用の手引き

考古資料館では、小学生から社会人の方までを対象とした様々な学習活動のお手伝いをしております。ご希望の際は、下記項目及び後記打合せ書をご参考に、当館まで事前にご相談ください。
(ただし、諸般の事情によりご希望に添えない場合もございます)

- ◆ **展示説明** 当館職員が展示を説明します。また、実物の資料・復元品に触れたり、収蔵しているパネルを使ってのご説明もいたします。
- ◆ **歴史公園を歩く** 当館を含む「まほろば古の里歴史公園」内には、復元された古墳や竪穴式住居、古代米の棚田などが整備されており、こちらをご案内します。
- ◆ **遺跡案内** 当館周辺には、日向洞窟（国史跡）や清水前古墳、金原古墳など多くの遺跡があります。こちらを現地でご案内します。
- ◆ **体験学習** 古代の技術を体験し、当時の人々の生活を学ぶこともできます（メニュー参照）。その他に体験したいことがございましたら、ご相談に応じます。

メニュー	内 容	所要時間	人 数	材料費
勾玉づくり	滑石という柔らかい石で勾玉を作ります。	2 時間	40名	200円
火おこし	ひもぎり式という摩擦を利用した古代以来の方法で、火を起こします。	30分	30名	無料
弓矢づくり	竹を利用して、弓矢を作ります。	1 時間	10名	200円
土器・土偶・土笛づくり	市販の粘土を野焼き用に調整し、形を作り、縄文の模様などをつけて、野焼きします。	延べ2日 (成形日・野焼き日)	20名	500円
編布（あんぎん）づくり	古代以来の編み具を使って、10cm 四方の程度の編み布（コースター）を作ります。	2 時間	10名	200円

(目安として)

*学校団体等で行う体験事業（勾玉・弓矢をつくろう、編布をつくろう）の場合は、上記の材料費（参加費）とは異なる場合があります

県立考古資料館利用打ち合わせ書

この度は、当館をご利用いただきましてありがとうございます。当館の利用につきまして、下記の打ち合わせ書を当館までいただきますよう、よろしくおねがいたします。

利 用 団 体			
学 年	年	引率者・代表者	
人 数	大人 名 小人 名		
日時・所要時間	月	日	: ~ :
実 施 内 容	遠足・社会科見学・総合的な学習・クラブ活動・親子行事・PTA行事・その他（ ）		
来館のねらい			
説 明	館内・歴史公園・近隣史跡（日向洞窟・金原古墳ほか）		
職員の説明の際に 強調を希望する点	無・有（旧石器・縄文・弥生・古墳・古代中世・ 学校近辺の遺跡・当館周辺の遺跡・洞窟遺跡・押出遺跡）		
使いたい資料	無・有（実物・パネル等・復元縄文衣服） その他 { }		
研 修 室 利 用	希望しない・希望する（学習のため・雨天時の昼食のため）		
利用に当たって 希望すること （体験学習等）	体験：勾玉作り・火おこし等		
交 通 手 段	貸切バス・路線バス・自家用車・レンタサイクル・徒歩・ その他（ ）		
当日に利用する 他の施設・史跡等			

*総合学習でご利用いただく場合は、これまでの経過・ご利用になった他の施設・機関等をお教え下さい。日程表・開催概要等がございましたら、こちらも送付下さい。

山形県立うきたむ風土記の丘考古資料館 〒992-0302 東置賜郡高畠町大字安久津2117
TEL 0238-52-2585 FAX 0238-52-4665

10. 条例・規則（抜粋）

山形県立うきたむ風土記の丘考古資料館条例

平成5年3月26日

山形県条例第27号

改正〔平成17年3月22日条例第60号〕

（設置）

第1条 本県にとって歴史上重要な古代の遺跡に関する資料の収集、保管及び展示を行い、県民の教育、学術及び文化の発展に寄与するため、山形県立うきたむ風土記の丘考古資料館（以下「資料館」という。）を東置賜郡高島町に置く。

（入館料の徴収等）

第2条 県は、第4条の規定により法人その他の団体であって教育委員会が指定するもの（以下「指定管理者」という。）が資料館の管理を行う場合を除き、資料館に入館しようとする者から入館料を徴収する。

2 入館料の額は、別表のとおりとする。

一部改正〔平成17年条例60号〕

（入館料の免除）

第3条 知事は、公益上特に必要があると認めるときは、入館料の全部又は一部を免除することができる。

（指定管理者）

第4条 資料館の設置の目的を効果的に達成するため、その管理を指定管理者に行わせることができる。

一部改正〔平成17年条例60号〕

（指定管理者が行う管理の基準）

第5条 指定管理者は、次に掲げる基準に従い、資料館の管理を行うものとする。

（1）1日当たりの開館時間は、午前9時から午後7時までの範囲内で、7時間以上とすること。

（2）休館日は、次に掲げる日とすること。ただし、国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）第2条に規定するこどもの日及び文化の日は、休館日としないこと。

イ 月曜日から金曜日までのいずれか特定の曜日

ロ イに掲げる日のほか、日曜日及び土曜日（国民の祝日に関する法律に規定する休日又は12月28日から翌年の1月4日までの日に当たる日を除く。）以外の日のうち、年間15日以内の日

（3）その他資料館の管理上教育委員会が必要と認める基準

2 指定管理者は、前項第1号及び第2号の基準の範囲内で、あらかじめ教育委員会の承認を受けて資料館の開館時間及び休館日を定めるものとする。

3 教育委員会は、前項の承認をしたときは、速やかに当該承認をした開館時間及び休館日を公示するものとする。

4 第1項及び第2項の規定にかかわらず、指定管理者は、必要と認めるときは、あらかじめ教育委員会の承認を受けて臨時に資料館を開館し、又は休館することができる。

追加〔平成17年条例60号〕

（指定管理者が行う業務の範囲）

第6条 指定管理者は、次に掲げる業務を行うものとする。

（1）資料館の施設等の維持管理に関する業務

（2）資料館の運営に関する業務

(3) 前2号に掲げるもののほか、資料館の管理に関し教育委員会が必要と認める業務
追加〔平成17年条例60号〕

(利用料金)

第7条 第4条の規定により資料館の管理を指定管理者が行う場合にあっては、資料館に入館しようとする者は、資料館の入館に係る料金（以下「利用料金」という。）を指定管理者に支払わなければならない。

2 利用料金は、第2条第1項の入館料の額の範囲内において、あらかじめ知事の承認を受けて、指定管理者が定めるものとする。

3 知事は、前項の承認をしたときは、速やかに当該承認をした利用料金を公示するものとする。

4 指定管理者は、利用料金を自己の収入として収受するものとする。

追加〔平成17年条例60号〕

(利用料金の免除)

第8条 指定管理者は、あらかじめ知事の承認を受けた基準により、利用料金の全部又は一部を免除することができる。

追加〔平成17年条例60号〕

(委任)

第9条 この条例の施行に関し必要な事項は、教育委員会規則で定める。

旧5条繰下〔平成17年条例60号〕

附 則

この条例は、平成5年4月1日から施行する。

附 則（平成17年3月22日条例第60号）

1 この条例は、平成18年4月1日から施行する。ただし、次項の規定は、公布の日から施行する。

2 山形県立うきたむ風土記の丘考古資料館の管理を法人その他の団体であって教育委員会が指定するものに行わせるために必要な行為は、この条例の施行前においても行うことができる。

別表

区 分		入館料の額
個 人	大学の学生及びこれに準ずる者	100円
	学齢に達しない者、小学校の児童、中学校又は高等学校の生徒及びこれらに準ずる者並びにこれらの者を引率する教員	無料
	身体障害者手帳の交付を受けた者、精神障害者保健福祉手帳の交付を受けた者及び療育手帳の交付を受けた者並びにこれらの者が観覧するために必要と認められる付添人	無料
	上記以外の者	200円
(20人以上のものに限る。)	大学の学生及びこれに準ずる者	1人につき 70円
	学齢に達しない者、小学校の児童、中学校又は高等学校の生徒及びこれらに準ずる者並びにこれらの者を引率する教員	無料
	身体障害者手帳の交付を受けた者、精神障害者保健福祉手帳の交付を受けた者及び療育手帳の交付を受けた者並びにこれらの者が観覧するために必要と認められる付添人	無料
	上記以外の者	1人につき 150円

全部改正〔平成17年条例60号〕

山形県立うきたむ風土記の丘考古資料館条例施行規則

平成5年3月30日

山形県教育委員会規則第2号

改正 平成17年10月28日教委規則第15号 平成18年3月24日教委規則第5号

(趣旨)

第1条 この規則は、山形県立うきたむ風土記の丘考古資料館条例（平成5年3月県条例第27号。以下「条例」という。）の施行に関し必要な事項を定めるものとする。

(開館時間)

第2条 山形県立うきたむ風土記の丘考古資料館（以下「資料館」という。）の開館時間は、条例第4条の規定により指定管理者が管理を行う場合を除き、午前9時から午後4時30分までとする。

2 教育委員会は、必要があると認めるときは、前項の開館時間を変更することができる。

一部改正〔平成17年教委規則15号・18年5号〕

(休館日)

第3条 資料館の休館日は、条例第4条の規定により指定管理者が管理を行う場合を除き、次のとおりとする。

(1) 国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日（こどもの日及び文化の日を除く。）

(2) 月曜日（月曜日が前号のこどもの日又は文化の日であるときは、その翌日）

(3) 12月28日から翌年の1月4日までの日（前2号に掲げる日を除く。）

2 教育委員会は、必要があると認めるときは、前項の休館日を変更し、又は臨時に休館日を定めることができる。

一部改正〔平成18年教委規則5号〕

(入館の手続)

第4条 資料館の資料を観覧するため入館しようとする者は、受付において、所定の入館料（条例第4条の規定により指定管理者が管理を行う場合にあっては、資料館の入館に係る料金）を納めて別記様式による入館券の交付を受けなければならない。

一部改正〔平成18年教委規則5号〕

(入館の規制)

第5条 教育委員会は、この規則に基づく定め若しくは教育委員会の指示に従わない者又は資料館に入館する者としてふさわしくない行為を行うおそれがあると認められる者に対しては、資料館の利用を拒み、又は退館を命じることができる。

(損害の賠償)

第6条 資料館に入館した者は、故意又は過失により資料館の施設、設備、資料等をき損したときは、それらを原状に復し、又はそのき損による損害を賠償しなければならない。

(委任)

第7条 この規則の施行に関し必要な事項は、教育長が定める。

附 則

この規則は、平成5年4月1日から施行する。

附 則（平成17年10月28日教委規則第15号）

この規則は、平成17年11月1日から施行する。

附 則（平成18年3月24日教委規則第5号）

この規則は、平成18年4月1日から施行する。

山形県立うきたむ風土記の丘考古資料館資料寄託・借用要領

この要領は、山形県立うきたむ風土記の丘考古資料館（以下「本館」という。）において、資料の寄託をうける（以下「受託」という。）とき、及び本館が寄託を依頼するとき並びに資料を借用するときの事務手続きに関し、必要な事項を定めることを目的とする。

I 寄託申込みと資料の取扱い

1. 本館に資料の寄託を希望する者は、資料寄託申込書（別記様式第1号）を、原則として寄託希望日の10日前までに山形県教育庁文化財保護推進課長（以下「県文化財保護推進課長」という。）に提出しなければならない。
2. 資料の寄託については、概ね次の条件を満たしていると認めるときは、県文化財保護推進課長はこれを承諾し、寄託申請者に資料受託承諾書（別記様式第2号）を発行する。
 - （1）資料としての価値が高いこと。
 - （2）資料の受託が、本館の活動に有益であること。
 - （3）資料の保存状況が、本館の収蔵に耐えること。
3. 資料の受託期間は、原則として3ヶ年とするが、期間の更新ができるものとする。
4. 資料の受託は無償とするが、資料の搬入及び搬出に係る費用は寄託申請者の負担とする。
5. 資料の本館への搬入及び搬出は、担当学芸員と寄託申請者が資料の状況を確認の上で行うものとする。
6. 県文化財保護推進課長は、受託の際に資料受託書（別記様式第3号）を寄託申請者に発行する。
7. 寄託者が資料の返却を受けたときは、資料受託書を県文化財保護推進課長に返戻しなければならない。
8. 受託期間中の寄託資料の使用については、本館所蔵資料と同等に扱うものとする。但し、貸出しにあたっては、寄託者と県文化財保護推進課長と借用希望者の三者が協議して決定するものとする。
9. 受託期間中に、本館の責任において資料を破損又は亡失した場合には、修復等に係る必要な経費を県文化財保護推進課長と寄託者が協議のうえで決定し、本館がこれを負担するものとする。但し、天災その他の不可抗力による場合はこの限りでない。
10. 寄託者が寄託期間を引続き更新しようとするときは、新たに寄託申請の手続きをとらなければならない。
11. 前各項に定めのない事態が発生したときは、県文化財保護推進課長と寄託者が協議のうえ、決定するものとする。
12. 寄託資料の内容は、本館の資料担当職員が資料受託簿（別記様式第4号）に記入する。

II 寄託依頼と資料の取扱い

1. 資料の所蔵者に、本館が寄託の依頼をするときは、県文化財保護推進課長は資料寄託依頼書（別記様式第5号）によって承諾を得るものとする。
2. 資料の受託は無償とし、資料の搬入及び搬出に係る経費は、本館が負担する。
3. 本館が受託期間を更新しようとするときは、県文化財保護推進課長はあらかじめ受託期間更新依頼書（別記様式第6号）によって寄託者の承諾を得なければならない。なお、資料受託書（別記様式第3号）は更新のたびに発行するものとする。
4. 前1項及び3項にいう承諾は、資料寄託承諾書（別記様式第7号）によって行うものとする。
5. 前各4項に定めるもののほか、寄託依頼に関し、必要な事項はIに定める資料の取扱いを準用するものとする。

III 借用依頼と資料の取扱い

1. 資料の所蔵者に、本館が借用の依頼をするときは、県文化財保護推進課長は資料借用依頼書（別記様式第8号）によって承諾を得るものとする。
2. 資料の借用は無償とし、資料の搬入及び搬出に係る経費は、本館が負担する。
3. 本館が借用期間を更新しようとするときは、県文化財保護推進課長はあらかじめ貸与期間更新依頼書（別記様式第9号）によって貸与者の承諾を得なければならない。
4. 県文化財保護推進課長は、借用の際に資料借用書（別記様式第10号）を貸与者に発行する。（借用期間の更新の場合も含む。）
5. 借用資料の内容は、本館の資料担当職員が資料借用簿（別記様式第11号）に記入する。
6. 前1項及び3項にいう承諾は、資料借用承諾書（別記様式第12号）によって行うものとする。
7. 前各6項に定めるもののほか、借用依頼に関し、必要な事項はIに定める資料の取扱いを準用するものとする。

押出遺跡出土に係る彩漆土器資料（国所有・国指定重要文化財）等 出土品の貸出しに関する取扱要項

（趣 旨）

第1条 この要綱は、山形県立うきたむ風土記の丘考古資料館（以下「当資料館」という。）が所蔵する「押出遺跡」出土に係る彩漆土器（国指定重要文化財）をはじめとする出土品（以下「出土品」という。）を将来にわたり 末長く保存活用するため、その貸出しの取扱いに関し、必要な事項を定めるものとする。

（出土品の貸出し）

第2条 当資料館所蔵の出土品の貸出しは、学術又は教育事業の目的のため以外は許可しない。

- 2 出土品を複製するための貸出しは、原則として許可しない。
- 3 貸出しを受けようとする者は、貸出しを希望する日の90日前までに、当資料館に貸出しの申請をしなければならない。申請の手続きは、別途指示するところによる。
- 4 当資料館外への出土品の貸出し回数は、原則として同一の物につき同一年度中に2回以内とする。
- 5 貸出期間は、1回につき原則として60日以内とする。ただし、特に材質等の劣化のおそれのあるものについては、1回につき30日以内とする。
- 6 貸出しを受ける者（以下「借入者」という。）が出土品を保管又は展示する施設は、国指定重要文化財の保管若しくは展示の実績がある施設又はそれらに相当する施設であると当資料館が認めたものに限る。
- 7 借入者側の出土品を運搬及び保管する担当者は、原則として当該保管施設の業務に専従している学芸員でなければならない。
- 8 借入者が管理すべき温度・湿度等については、当資料館の指示に従うこと。
- 9 貸出しに係る出土品の運搬は、借入者において美術品搬送専用車で行うものとし、借入者側の担当者が全行程に立ち会わなければならない。
- 10 貸出し先での出土品の実測及び写真撮影、原則として許可しない。
- 11 借入者は、出土品を目的外に使用してはならない。また、第三者に貸出してはならない。

（その他）

第3条 借入者は、貸出しを受けた出土品を毀損しないよう十分な注意をもって取り扱い、当資料館の指示に従うこと。

- 2 当資料館の規則及び職員の指示に従わない場合は、いつでも貸出しの許可を取り消すことができる。許可を取り消されたときは、貸出した出土品を速やかに返却し、それに要する費用は借入者が負担しなければならない。
- 3 借入者が、当資料館の所蔵する資料を利用し出版物を刊行した場合は、当該出版物を2部以上当資料館に贈呈すること。

（疑義の決定）

第4条 この要綱に定めない事項及びこの要綱に疑義が生じた場合は、その都度当資料館と借入者が協議のうえ決定するものとする。

附 則

この要綱は、平成15年4月1日から施行する。

2011 / 年報

平成24年（2012年）3月31日 印刷・発行

編集発行 〒992-0302
山形県東置賜郡高畠町大字安久津2117
山形県立うきたむ風土記の丘考古資料館
TEL 0238-52-2585
FAX 0238-52-4665

印刷 (株)芳文社よねざわ印刷

